

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	S-score を用いたクラゾセンタン使用後のくも膜下出血予後評価に関する研究 (承認 No. 2024-075)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	脳神経外科・統括医長・八子武裕
他の研究機関および 各施設の研究責任者	研究代表者：伊那中央病院・脳神経外科 部長・佐藤 篤
本研究の目的	くも膜下出血は脳動脈瘤破裂によって発症し、その予後は発症の程度や出血の程度、年齢などに大きく影響されます。我々はこれらを考慮した予後予想用のアイテムとして S-score を開発しました。このスコアを用いた予後予測式も開発し、臨床的に役立てております。この予後予想式から得られた結果を基準に、現在新規に導入されたくも膜下出血の脳血管攣縮改善薬であるクラゾセンタンが予後を改善するかを調査しております。クラゾセンタンの使用はくも膜下出血の治療ガイドラインにいち早く取り入れられ、使用が推奨されている薬物です。ただし、クラゾセンタンはその使用による循環器系や呼吸器系への負担も懸念されるため、使用できない場合もあります。それらも含めて、クラゾセンタンが予後を改善するかどうかを評価するのが調査の目的となります。
調査データ 該当期間	下記の対象となる患者さんの要件を参照
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 2022 年 1 月以降、当院で手術を行ったくも膜下出血の患者さん 2024 年 10 月 31 日の時点で術後 3 ヶ月を経過完了している患者さん 本研究では、以上の期間中に当院でくも膜下出血治療を受けられた患者様の診療情報を匿名化し、統計解析を行います。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査項目を利用する ●研究期間： 2024 年 11 月 26 日～ 情報収集が終了次第終了
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	パスワードを設定し、研究代表者にメールで送信します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	相澤病院 脳神経外科 統括医長 八子武裕 Tel : 0263-33-8600(代表)